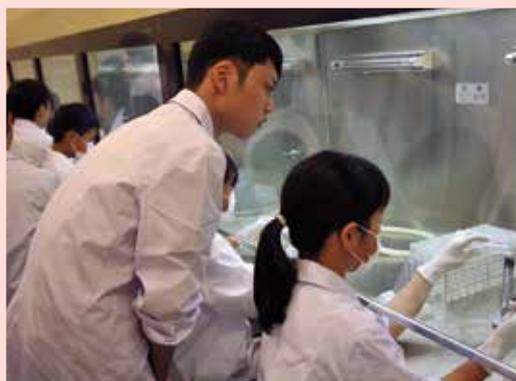


夏原グラント



活動報告書

2019年度



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人 **平和堂財団**

協賛 株式会社 **平和堂**

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、教育・文化・体育・環境・児童福祉の5分野で助成活動を行っています。琵琶湖を抱える滋賀県に生まれた法人として環境分野には重点的に取り組んでおり、その中でも「夏原グラント」は、環境保全活動に対する中心となる助成事業です。

2019年度は、ファーストステップ助成をあわせると、60団体に助成を受けていただきました。単年度助成に終わらないように、最長3年間の継続助成をすることで団体の活動の活性化を目指すとともに、基盤強化への取り組みを行うステップアップ助成も引き続き実施してきました。

また、助成事業に関連して夏原グラント選考委員による「市民環境講座」を2回開催すると

ともに、交流会も開催して多くの方にご参加いただきました。

この度、2019年度の助成事業が終了し、助成を受けていただいた団体からの活動報告をとりまとめた「平和堂財団環境保全活動助成事業夏原グラント活動報告書」が完成しました。滋賀県・京都府内の環境に関する多様な活動について、本冊子でご紹介しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人 平和堂財団
理事長 夏原 平和



目次

助成金の概要、選考基準、スケジュール	1P
選考委員、応募・採択事業数、説明会と事前相談会、市民環境講座	2P
公式サイト、夏原グラントの特徴、贈呈式記念写真	3P
2019年度助成事業紹介・団体一覧表	4～5P
事業報告 1年目 14団体	6～10P
卒業団体の活動をレポート	10P
事業報告 2年目 13団体	11～15P
環境保全活動団体交流会の報告、ロゴマークとリンクバナーの紹介	15P
事業報告 3年目 13団体	16～20P
事業報告 ステップアップ2団体	20P
表彰された団体の紹介	21P
表紙・裏表紙の写真の説明	21P

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業 「夏原グラント」

※グラント「grant」＝助成金

●対象となる事業

この助成金の対象は、主に琵琶湖およびその流域の環境保全活動で、滋賀県内・京都府内で実施される河川や湖等の水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、生物多様性維持等の事業です。生活に身近な課題の解決に資する事業や、環境活動を軸に地域でのしくみやつながりを生み出すことを目的とした事業についても対象となります。具体的には、次に示すような種類および形態の活動です。

活動の種類

- (1) 河川・湖沼などの自然環境の保護・保全活動
- (2) 森林の育成保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や林産物の活用を創出する活動
- (3) 里地里山の生物多様性を保全・創出するための活動や森・里・川の繋がりを再生する活動
- (4) 絶滅危惧種・稀少種に指定されている野生動物の保護・保全や生物多様性維持の活動
- (5) 地球温暖化・廃棄物減量などの課題を生活の中から考え、解決に向かう糸口を見つける活動
- (6) 市民が主体となって企画し、継続して行っている緑化活動や清掃活動

活動の形態

- (1) 実践活動
- (2) 教育啓発・人材育成活動
- (3) 調査研究活動（実践活動に結びつくものとし、学術的な研究活動は対象外）

●一般助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、滋賀県内・京都府内で活動している環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体、または学生団体

●ファーストステップ助成金の対象となる団体

- (1) 立ち上げ支援
これを機に団体を立ち上げ活動を始める
- (2) 小規模事業の支援
今まで継続してきた事業で応募
※採択となった団体はファーストステップ助成終了後、夏原グラント一般助成への応募が要件

●助成金の額

- (1) 一般助成金
 - ① NPO法人、市民活動団体
1件あたり上限 50万円
 - ② 学生団体
1件あたり上限 30万円
- (2) ファーストステップ助成金
1件あたり上限 10万円



2019年度 募集要項

選考基準

- (1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- (2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- (3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- (4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

2018年	11月30日	説明会・事前相談会の開始
	12月3日	募集開始
2019年	1月31日	募集締め切り
	2月18日	1年目1次選考会
	3月17日	2年目選考会・公開プレゼンテーション
	3月21日	1年目2次選考会・公開プレゼンテーション
	4月20日	贈呈式（クサツエストピアホテル）
	4月1日から翌年3月31日まで	助成金事業実施期間

選考委員

仁連 孝昭	滋賀県立大学 名誉教授
内田 香奈	きょうとNPOセンター 副統括責任者
西野 麻知子	びわこ成蹊スポーツ大学 教授
脇田 健一	龍谷大学 教授
辻村 琴美	コミュニティ・アーキテクトネットワーク 理事長

(敬称略・順不同・2019年度選考当時)

応募・採択事業数

1年目事業応募数	38事業	うち採択 14事業
2・3年目事業応募数	27事業	うち採択 26事業
ステップアップ応募数(1・2年目)	3事業	うち採択 2事業
ファーストステップ応募数(1・2年目)	17事業	うち採択 17事業
助成総額		15,840,000円

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている団体のみなさまを対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明の後質問にお答えし、終了後は個別の相談に対応をしています。会場では参加者から、応募書類の書き方、アピールできる事業企画書の書き方のポイントや、予算書の書き方、公開プレゼンテーションのコツなどについての質問がありました。これらの相談には、夏原グラントの運営を担っているしがNPOセンターのスタッフがあたっています。

●開催日(すべて2018年)

11月30日(金)	京都市市民活動総合センター	※昼・夜の2回	(京都市)
12月2日(日)	文化パーク城陽		(城陽市)
12月4日(火)	アクティ近江八幡		(近江八幡市)
12月7日(金)	草津市立市民交流プラザ		(草津市)
12月9日(日)	米原公民館		(米原市)

市民環境講座

この講座は助成団体だけでなく、保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、オープン開催としています。夏原グラント選考委員のお二人にお話をいただきました。

●第1回 5月12日(日)

「楽しくそして意味のある、環境活動の展開」

講師：仁連 孝昭さん

(滋賀県立大学 名誉教授)

仁連さんは「独りよがりにならない、楽しめる活動を組み立てましょう。時には立ち止まって、広い視野で活動を見直してみるといいですね。そのためにも、夏原グラントのネットワークを活用してください。」とお話されました。

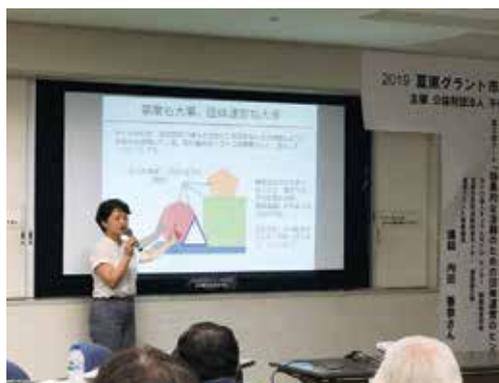
●第2回 6月30日(日)

「効果的な活動のための団体運営のヒント」

講師：内田 香奈さん

(NPO法人きょうとNPOセンター副統括責任者)

内田さんの講座では、団体の「自立」とはということなのか、団体のビジョンとミッションについてワークの時間を取り、参加者は他の団体の方との話し合いを行いながら考えました。



公式サイト

●夏原グラント公式サイト <http://www.natsuhara-g.com/>

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前や、事業実施中のQ&Aも掲載するなど、応募前から終了後までいねいな対応を心がけています。募集要項、申請書類、採択団体となつてから使用していただくロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場を取材させていただき、豊富な写真とともに紹介しています。

ぜひ、アクセスしてください。携帯電話・スマートフォンでも見いただけます。



夏原グラントの特徴

夏原グラントは、単なる助成金だけの支援ではありません。

(1) 学びの場の提供

毎年、市民環境講座を開催し、助成先の団体だけでなく環境保全に興味のある方にも参加していただいています。講師は夏原グラント選考委員で、内容は環境保全の基礎や最新の知識、組織運営に関するワークショップなどです。講座を受講することで活動や組織のブラッシュアップをしていただくのが目的です。

(2) 交流機会の提供

各団体が他の地域や違う分野の活動について情報交換を行う機会を提供することにより、ネットワークを広げていただけます。

(3) 事務局サポート

しがNPOセンターの強みを活かして、事業実施中の団体からのさまざまな相談を受けアドバイスを行っています。また、現地を訪問し、取材して「活動レポート」をサイトに公開することで、事業や団体の情報発信を行っています。

贈呈式記念写真



「夏原グラント」第8回助成金贈呈記念交流会 2019年4月20日 クサツエストピアホテル

2019 年度採択事業紹介

2019 年度に夏原グラントの一般助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3つについてお聞きしました。

1 年目 14 事業、2 年目 13 事業、3 年目 13 事業、ステップアップ(1 年目と 2 年目)2 事業の計 42 事業を掲載しています。



2019 年度助成事業・団体一覧

1 年目 14 事業

※右端の「P」欄は掲載ページ

地域	事業名	団体名	P
滋賀	小谷山・山田山森林整備事業	ほっこりおせんどさん山里の会	6
滋賀	彼岸花の復活による堤防環境保全と地域づくり	徳山環境保全会	6
滋賀	虎御前山の里山保全・整備活動	虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会	6
滋賀	総出事業 フリースペースつどい	つどい	7
滋賀	八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の竹林整備と市民が親しめる環境づくり	秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会	7
滋賀	猪子山・地獄越え山道整備事業	猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会	7
滋賀	滝区ササユリの咲きほこる里づくり	滝区ササユリの里づくり委員会	8
滋賀	都市公園で育むナチュラル・ガーデンとナチュラル・キンダーガーデン	ボランティアグループ：森の風音	8
滋賀	湖西のハマエンドウの保全	滋賀植物同好会	8
滋賀	滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究	滋賀のオオサンショウウオを守る会	9
京都	2019 年度桑木クヌギ植え付け事業	京都桑田村	9
京都	中世木の里山・棚田を守るプロジェクト	中世木ビジョン委員会	9
京都	小塩山のコナラ林の若返りを進め、カタクリ・ギフチョウ保全と薪資源の活用を図る	西山自然保護ネットワーク	10
京都	放置竹林整備事業	八幡たけくらぶ	10

2 年目 13 事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	野鳥の気持ちを知るプラットフォームづくり	山中比叡平里山倶楽部	11
滋賀	近江の苗木ニューブーム推進事業～全国植樹祭を成功させよう～	滋賀県苗木ネットワーク	11
滋賀	ドローン空撮による琵琶湖周辺環境のモニター研究	e ネットびわ湖高島	11

地域	事業名	団体名	P
滋賀	「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力を発信・案内するしくみづくり	ヨシネットワーク	12
滋賀	耕作放棄棚田の再生と伊吹の薬草復活プロジェクト	伊吹くらしのやくそう倶楽部	12
滋賀	遊休農地活用地場産材による甘味防災保存食事業	みんなの家 EH	12
滋賀	荒神山ファンクラブプロジェクト	荒神山ファンクラブ	13
滋賀	西の湖ヨシ灯り展	西の湖ヨシ灯り展実行委員会	13
滋賀	緑の手入れを通じての“高齢者支援対策”と“空き家対策”	志津南環境美化ボランティアの会	13
滋賀	里山の整備保全と地域との交流活動	甲賀の環境・里山元気会	14
京都	久多の山と遊ぶビーバーの会	自然住宅情報ひろば	14
京都	鹿背山おやこの森の kichi	こそだてママ net	14
京都	里山の保全 地域のコミュニティづくり	重利の山を守る会	15

3年目 13事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	スギ・ヒノキの人工林から命を育む自然の森へ 琵琶湖水源の森づくりプロジェクト	日本熊森協会滋賀県支部	16
滋賀	休耕農地を活用し、地域に自生し絶滅の恐れのある花菖蒲・杜若・メダカ・タガメ等、水生動植物の保護育成園の整備事業	浜分環境クラブ	16
滋賀	甲賀木の駅プロジェクト「森林を愛する人を増やそう計画！！」	甲賀木の駅プロジェクト運営委員会	16
滋賀	古道再生による里山の保全	番場の歴史を知り明日を考える会	17
滋賀	里山の保全と遊歩道の維持管理	かぶと山を守る会	17
滋賀	琵琶湖とともに～沖島『エコの島・安心して暮らせる島』に～	菜の花プロジェクトネットワーク	17
滋賀	野性傷病鳥獣の救護追跡事業	放鳥's	18
京都	市民共同発電所「おひさま発電所」設置施設とともに進める環境学習	きょうとグリーンファンド	18
京都	京都・美山千年の川プロジェクト～命溢れる川づくり～	芦生自然学校	18
京都	森のようちえん おやこの会	森のようちえん だろんこ園	19
京都	里山農園周辺環境整備事業	やましろ里山の会	19
京都	竹と筍の魅力発信基地の創設	加茂女	19
京都	太陽熱回収用へどろヒートポンプの開発	ブルーシー阿蘇	20

ステップアップ1年目 1事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	Re 梵(リボン)大作戦 ～梵釈寺から始まる里山の再生～	里山保全活動団体 遊林会	20

ステップアップ2年目 1事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	中山間地域赤シソ栽培ネットワーキング事業“Team Hira Perilla”	比良里山クラブ	20

小谷山・山田山森林整備事業

ほっこりおせんどさん山里の会

活動場所 滋賀県長浜市小谷上山田町
所在地 滋賀県長浜市小谷上山田町 880
設立年 2001年
会員数 11名

夏原グラントで実施した事業の紹介

ほっこりおせんどさん山里の会は、普段小谷山の森林整備を中心に活動しています。昨年イベントを3回開催しました。まず、春に参加者と山の現状を見ながら山菜を取り調理していただく山菜の会、夏場に間伐材を製材し、参加者に墨付け・刻み、棟上げまでを体験してもらう小屋建てを実施しました。また、獣害対策として、兵庫県豊岡市の有害鳥獣対策員である岡居宏顕氏を招き豊岡市の先進的な対策、当会の地域の現状を話し、これからの獣害対策や山の現状について意見を交わしました。当日は長浜市長や市議会の方もお越しいただき、有意義な時間を設けることができました。

環境や地域への貢献

整備事業により、一昨年の台風による倒木を除去し、人が自由に入出りできる森林空間を作ることができました。また、複数回イベントを開催し、山を通して様々な人との出会い、新たな山の利活用について考えることができました。

助成金が活きたと思う点

普段は、整備事業がメインですが、助成をいただくことで、当会の取り組みを多くの人に周知できる場が設けられ、整備事業にとどまらない幅の広さをもつことができました。



彼岸花の復活による堤防環境保全と地域づくり

徳山環境保全会

活動場所 滋賀県長浜市徳山町地先
所在地 滋賀県長浜市徳山町 310
設立年 2007年
会員数 10名
連絡先 m.nishikawa@ares.eonet.ne.jp,090-4305-9608
Facebook

夏原グラントで実施した事業の紹介

一級河川草野川の堤防に1kmにわたって、2007年度から彼岸花の球根を少しずつ植栽し、通学路を兼ねた堤防の環境保全を行っています。開花時期には、10万本以上の彼岸花が一面に咲き誇り、地元はもとより、他府県からも多くの見学者が訪れるようになりました。地元の絆が深まり、併せて来訪者にお茶を提供し、親睦を深め周辺の観光地なども紹介するなどして、人と人のつながりを深めています。

環境や地域への貢献

小集落の地道な活動ですが、毎年多くのボランティアが、活動に参加してくれます。また地域のまちづくりセンターも草刈りの応援や河道内の伐木など協力してくれるようになりました。いつの間にか、ネットで「近畿の彼岸花の名所」の一つとして紹介され、長浜市も開花時期の情報発信など協力をいただいています。さらに、他の活動団体の活動を見学に行っている教員を教えていただいたり、お互いの活動を向上させるべく他団体との交流会を実施しています。このことがより活動の活性化と地域への貢献につながるものと考えています。

助成金が活きたと思う点

活動のPRを最重点に考えて、見学者向けに、開花に至るまでの日頃の活動状況を紹介する看板や案内看板、現地の安全施設などを整備することが出来ました。また念願のパンフレットを作成することが出来ました。さらに真夏の草刈りに対する賃金にも活用させていただきました。当初から、ほとんど資金なしの状態でしたが、夏原グラントの補助金が引き金となって、自治会からも少し補助金をいただけることになりました。



虎御前山の里山保全・整備活動

虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会

活動場所 滋賀県長浜市
所在地 滋賀県長浜市 559
設立年 2010年
会員数 60名

夏原グラントで実施した事業の紹介

住民の生活につながりを持たなくなった里山ですが、お宝がいっぱい眠っています。10年に亘る草刈り作業や測量により、誰もが入りやすい山になりました。山全体からすればほんの一部かもしれませんが、最近地元だけでなくリピーターにもお会いします。次世代への継続も期待しております。

助成金が活きたと思う点

古墳や城郭遺構の測量を地道にやっておれば、いずれ誰かが見つけてもらえるものと始めて7年経ちました。多くの説明案内看板設置を始め、今回中間報告書を刊行できますのも助成金の賜物です。心よりお礼申し上げます。



総出事業 フリースペースつどい

認定特定非営利活動法人 つどい

活動場所 滋賀県長浜市常喜町 874-2
所在地 滋賀県長浜市常喜町 874-2
設立年 2011年
会員数 正会員 68名、サポーター 80名、11団体
連絡先 0749-57-6777, Careplan-tudoio@topaz.plala.or.jp
HP  Facebook 



夏原グラントで実施した事業の紹介

認定特定非営利活動法人つどいでは、フリースペースの基盤作りとして地域の方々とはつま芋掘りによる総出事業と耕作放棄地整備、養蜂巣箱作りを行っています。

すべての人々に出番を作り、働きづらさや不登校、行き渋り、生きづらさを抱える人々に、人と関わるきっかけややりたいことを見つける場づくりを目標に掲げ活動を行っています。

環境や地域への貢献

フリースペースに通う子供が地元の高校生や未就学児の親子、デイサービス利用者の皆さんとともに、さつま芋の苗植えから芋掘りまでを一緒に行うことで多くの人々との交流を通じ、人と関わるきっかけや安らぎを再認識する場となりました。また、耕作放棄地の藪の整備を行うことで、働くことへのきっかけ作りが図れました。ともに汗を流し、刈払い機の使い方を農家さんから指導してもらいました。

助成金が活きたと思う点

助成金をいただいたことで、地元の多くの皆さんに集まってもらうことができ、触れ合う場所づくりができたと考えています。また放棄地の藪整備が行え、冒険遊び場など様々な発展ができていくと考えています。

八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の 竹林整備と市民が親しめる環境づくり

一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会

活動場所 滋賀県近江八幡市宮内町地先の竹藪
所在地 滋賀県近江八幡市新町 1-18
設立年 2016年
会員数 47名
連絡先 0748-32-4435、k-kazuhiko3@yk2.so-net.ne.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

1585年に豊臣秀次が築いた八幡山城の南山麓には秀次家臣団の屋敷跡が埋もれ、荒廃竹林となり果てていました。個人の所有者から譲渡の話があり、一般社団法人を設立して荒廃竹林を美しい竹林に蘇らせ、市民が親しめる環境を目的としました。毎月第二土曜日の作業には平均25名の参加が得られており、過去3年5か月余り事業を継続してきました。今までの定期的な作業によって、当該竹林（総面積約4千坪）の約3分の2程度が整備されつつあります。

環境や地域への貢献

荒廃竹林を整備することによって八幡山山麓の景観も良くなり、南側に隣接する住宅への竹林の倒木が防止されて地域住民から喜ばれております。参加者も地域の住民のみならず市内の「おやじ連」の皆様他、幅広い参加者が得られています。

助成金が活きたと思う点

作業継続によるノコギリ等の消耗も激しく、当会が継続的に事業を実施していくためには助成金は欠かすことができません。

猪子山・地獄越え山道整備事業

猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会

活動場所 滋賀県東近江市能登川地区及び五個荘地区
所在地 滋賀県東近江市能登川町 298-11
設立年 2016年
会員数 11名
連絡先 0748-42-6640、isaohori@yahoo.co.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

琵琶湖の東側中部に位置する猪子山から織山の尾根に連なる山道は、数十年が経過した丸太が朽ち、事故を起こしかねない状況となっていました。私たちは、利用される方が安全かつ快適に利用いただくため、新しい檜材丸太に交換設置する作業を主に活動しています。今年度約四百本、累計では四千本を越える数を交換しております。設置場所まではすべて人手、高低差のある道を1km以上運ぶ場合もあります。最近では、トレッキングに来られた方が、この作業を手伝ってくださるようになりました。

環境や地域への貢献

トレッキングに来られた方からは、たびたび激励と感謝の声掛けをいただけるようになり、私たちの励みとなっています。おかげさまで県外からの利用者が目立つようになり数年前に比べると格段に増加しています。当地域だけでなく、八日市太郎坊までのトレッキングコースが繋がったとき、東近江最長のコースとなり、さらに多くの方々が利用されることを楽しみにしています。

助成金が活きたと思う点

例にもれず、当会でも高齢化がすすんできていますが、これからも丸太などの機材購入に支援協力がいただける限り、1本でも多くきれいな山道を作る所存です。

滝区ササユリの咲きほこる里づくり

滝区ササユリの里づくり委員会

活動場所 滋賀県甲賀市甲賀町滝
所在地 滋賀県甲賀市甲賀町滝 855
設立年 2010年
会員数 164名
連絡先 TEL090-1145-2601
甲賀町滝 825-2 渡邊健三

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちの委員会では、絶滅しつつある「ササユリ」を地域が受け継いできた自然豊かな里山に咲かせる取り組みを行っています。地域の小学生から熟年者までの老若男女が力を合わせて植栽地の管理を行い、バイオ技術を用いてのササユリの球根増殖もしています。

環境や地域への貢献

この事業を始めてから約10年が経過します。ようやく私たちが住む里山には、みんなで植栽したササユリがそこそこに咲くようになってきました。最近では、JRを利用したウォーキングや他県からの来訪者もあり、花の咲く春の季節には、植栽地はにぎわっています。地域のみんなで育てる活動は、地域づくり・人づくりにも役立っています。

助成金が活きたと思う点

昨年は、地域のみんなを取り組む私たちの活動が認められて、甲賀市から感謝状をいただきました。そこで、この活動をみんなにも知ってもらうということで、広く紹介するためのDVD(技術編・活動編)を作ることができました。また、バイオを用い、みんなが楽しみながら多くの球根を増殖することができました。



都市公園で育むナチュラル・ガーデンとナチュラル・キダーガーデン

森の風音

活動場所 滋賀県営都市公園「びわこ文化公園」
所在地 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5 龍谷大学内
設立年 2001年
会員数 29名(2020年1月現在)
連絡先 TEL・FAX 077-544-7209・077-544-7209
rkaneke@soc.ryukoku.ac.jp

夏原グラントで実施した事業の紹介

事業名は「都市公園で育むナチュラル・ガーデンとナチュラル・キダーガーデン(生物多様性を高める植栽を進め、森のようちえん活動と合わせて、森林の新たな活用をめざす事業)」です。具体的には、びわこ文化公園内の里山作業(間伐、植栽、除草など)を行い、公園来訪者にとって憩いの場所(ナチュラル・ガーデン)づくりを行いました。同時に、森のようちえん(ナチュラル・キダーガーデン)の保育環境を整備して、子どもたちの環境教育に役立てました。

環境や地域への貢献

公園のモミジ林内の間伐を進めて日光が地面に届くようになり、多くの植栽により林床の植生が豊かになりました。その活動が滋賀県庁に認められ、遊歩道の整備をしてもらい、公園の活性化に寄与できました。

助成金が活きたと思う点

活動場所は、長さ約100m・幅約20mの広大な土地で、多数の草木を植える必要がありましたので、助成金で苗を購入できて、ナチュラルガーデンづくりを進められました。

また、森のようちえんの遊具・道具の購入ができましたし、森のようちえん(自然保育)のシンポジウムも開催いたしました。



湖西のハマエンドウの保全

滋賀植物同好会

活動場所 滋賀県全域ほか
所在地 滋賀県近江八幡市安土町小中 560-105(大谷一弘方)
設立年 1985年
会員数 96名
連絡先 HP

夏原グラントで実施した事業の紹介

私たちは、これまで琵琶湖岸に生育する海岸性植物のハマエンドウの分布調査を行いました。琵琶湖岸に侵入し適応した貴重な植物です。滋賀県では絶滅危惧種で、県の条例に基づき保護される「指定希少野生動物植物種」です。この調査で、湖西地域に4ヶ所生育していることが分かりました。発見当時は雑草に覆われてひっそりと生育していました。保護の必要性を感じ、保全活動の取組みとして、貴重種である看板を立て、柵を設け、除草作業を行いました。結果的に良好な生育環境が整い、生育面積を広げ、多くの花を咲かせるようになりました。また、本年度はこれと平行して生育環境をより高めるために必要なハマエンドウの生態の調査を行いました。地上で見られない地下茎の観察、訪花昆虫調査、生育地の土壌環境調査など行ってきました。

環境や地域への貢献

今回の活動の成果が「絶滅危惧種」の脱却に貢献できるものと確信しています。

助成金が活用できたと思う点

今回の助成のおかげで、良好な生育地の整備と、調査活動の知見が今後の環境整備に大いに役立つと思います。



滋賀県のオオサンショウウオに関する調査・研究 滋賀のオオサンショウウオを守る会

活動場所 滋賀県
所在地 滋賀県高島市永田 856 (岡野方)
設立年 2017 年
会員数 10 名
連絡先 siga.oosannmamoru@gmail.com
HP 



夏原グラントで実施した事業の紹介

滋賀県に生息する特別天然記念物・オオサンショウウオを守るため様々な調査・研究活動をしています。日本固有のオオサンショウウオのすむ河川では、生息調査実施の他、地域の方々に参加いただく生物観察会など、啓発活動も行っています。また、チュウゴクオオサンショウウオの遺伝子汚染が懸念される河川では、個体の保護と遺伝子解析を行い、汚染の実態把握を進めています。一方、今年度は近隣の保護団体を招いて意見交換会を開催し、今後の活動の質の向上を図りました。

環境や地域への貢献

生息実態や遺伝子汚染の状況、環境変化などの把握により、オオサンショウウオとその生息環境を保全し、次世代に伝えることに貢献しています。観察会では多くの子ども達やその保護者の皆さんに、実際に生息環境に触れ、さらに座学でそれらの重要性を知ってもらうことで、素晴らしい環境が身近にあると再認識していただき、保全意識の向上に貢献しています。

助成金が活きたと思う点

観察会への保護専門家の招へい、初めての近隣団体の意見交換会を開催できました。また、遺伝子鑑定を研究機関に委託することで、科学的な根拠に基づく事業展開ができました。

2019 年度桑木クヌギ植え付け事業

特定非営利活動法人京都桑田村

活動場所 京都府南丹市美山町豊郷
所在地 京都府南丹市美山町豊郷向谷 17 番・18 番合地 1
設立年 2014 年
会員数 45 名
連絡先 理事長 柿迫義昭 TEL 0771-76-0040,090-8820-3959
FAX 0771-76-0049,fuaje509@cans.zaq.ne.jp



夏原グラントで実施した事業の紹介

たかつかさ保育園児年長組が年間 3 回訪問してきています。夏と秋は合宿で古民家に宿泊し、春は日帰りです。夏合宿は台風襲来で中止しましたが、秋合宿は園児 28 名と先生方や親御さん等 45 名が参加し、会員と昔遊びや脱穀体験、川遊び、夕食作りなどで交流。翌日には桑畑で虫取りなどをしながら、兄弟が植えた桑木を見つけて記念写真を撮りました。春の来村では、卒園記念として桑の木を植え付ける計画でしたが、新型コロナウイルスの関係で中止したことから、園児に代わって会員で植え付けました。また、全国組織である日本きものシステム協同組合の皆さんが来村し、桑の木・クヌギを植えていただきました。

環境や地域への貢献

情操教育として蚕の飼育をしている保育園から桑の葉提供の依頼を受けました。私達の地域は元々養蚕が盛んな地域でもあり、高齢者の培った技術や知恵を生かしながら、園児とのふれあいが生まれることで、会員の元気づけに役立つと考えました。園児達を迎えるために、会員達は昔遊び道具を手作りし練習し、園児が来てくれるのを心待ちにしています。

助成金が活きたと思う点

桑の苗木の購入と植え付けができ、園への桑葉の供給が可能となりました。荒廃しつつある里地里山に手入れのきっかけにもなりました。これらの取り組みを通して、高齢者同士の繋がりが深まり、元気づけに貢献ができています。

中世木の里山・棚田を守るプロジェクト

中世木ビジョン委員会

活動場所 京都府南丹市日吉町中世木
所在地 京都府南丹市日吉町中世木赤部 8
設立年 2016 年
会員数 20 名



夏原グラントで実施した事業の紹介

2019 年は「自然を学ぶ、守る、食す」をテーマに、6 月には中世木川の環境を守る川掃除を行いました。また、田植え時に食べる「ほう葉飯伝統食」を料理しました。9 月には収穫に感謝する「中世木新米まつり」を開催。2 月には村の長老から地域でお祭り時に料理されていた「鯖寿司」を教えてもらいました。

次に自然を遊ぶと称して「中世木まるごとプレーパーク」の第一弾として「子どもの遊び場」作りを始めました。また、中世木の将来をみんなで語るビジョン委員会を 8 回開催しました。

環境や地域への貢献

桂川の源流の中世木川の川掃除として、川の斜面の草刈り、マイクロプラスチックの除去など、災害の防止と環境保全に寄与しました。また、自然の恵みの感謝、自然を守るという機運が醸成されました。

助成金が活きたと思う点

助成金があったためスタッフ経費が払え、活動が活発になりました。

小塩山のコナラ林の若返りを進め、カタクリ・ギフチョウ保全と薪資源の活用を図る

西山自然保護ネットワーク

活動場所 京都府京都市西京区大原野南春日町 (小塩山)
所在地 京都府長岡京市天神 3-14-5
設立年 1999 年
会員数 400 名
連絡先 nishiyamanet@gmail.com
HP

夏原グラントで実施した事業の紹介

京都市の西にある小塩山 (642 m) にはカタクリ群落とギフチョウ生息が見られます。これらの生き物は春の日差しが射す薪炭林 (コナラ落葉樹林) に生きてきました。しかし、薪炭林が使われなくなり、暗い森に変わってきました。私たちは 2014 年から放置されたコナラ高齢木を伐採して、若返りをすすめてきました。2019 年の第 3 次事業では、夏原グラントの支援を受けてコナラ高齢木 10 本を伐採。これを薪に割って薪利用をすすめてきました。

環境や地域への貢献

2019 年の第 3 次事業で、カタクリとミヤコアオイ (ギフチョウが育つ草本) の生育が期待できます。こうして希少生物の生育環境を守り、「生物多様性国家戦略」に貢献しています。伐採木を薪利用することは、カーボンニュートラルで、社会的貢献となります。

助成金が活きたと思う点

高さ 15 m のコナラ高齢木の伐採は業者に依頼 (その費用は助成金から)。薪割りと運び下ろしには国際学生ボランティア協会 (立命館) に協力を依頼しました (薪割りに必要な備品や簡易トイレの購入と学生団体への謝金は助成金から)。助成金のおかげで 2019 年の第 3 次事業計画を達成できました。



放置竹林整備事業

特定非営利活動法人八幡たけくらぶ

活動場所 京都府八幡市
所在地 京都府八幡市八幡平ノ山 85
設立年 2003 年
会員数 123 名
連絡先 TEL : 075-982-3695, ytc2016@cap.ocn.ne.jp
HP

夏原グラントで実施した事業の紹介

京都府八幡市の男山周辺の里山で荒れ果てた放置竹林の整備活動を行っています。景観保全のために、竹の間伐・除伐・下草刈りなどを行いながら竹林と雑木林の分離共生を図り、里山の維持管理活動を実施しています。

環境や地域への貢献

整備された竹林は景観も美しく自然環境も保全されます。また、竹林と雑木林を分離することで、周りの樹木の活性化にも役立ち、河川水を清らかにし、適切な生態系を維持することにつながると考えています。一般公募による市民参加の竹林整備体験を開催し、環境保全の大切さを学ぶことや、竹の有効活用の一環として子ども向け竹細工教室の開催も行いました。また展望台庭園の整備にも力を入れており、四季折々の花を咲かせることで、観光客や散策者から感嘆の声が寄せられています。

助成金が活きたと思う点

竹林整備に必要な器具類・チェーンソーや草刈り機などの燃料、ノコギリ替刃・安全ロープなどの消耗品や、8 か所にまたがる竹林への交通費、用具保管倉庫の修理など大いに活用させていただきました。



卒業団体の活動をレポート



夏原グラントでは、助成終了後も助成を受けていた団体との関係を保っていきたいと考えています。このシリーズでは、ステップアップ助成を受けていた団体にインタビューをして、その記事を順次夏原グラントホームページに掲載していきます。第一回は一般社団法人 kikito についての記事です。(2019 年 12 月 4 日公開)

びわ湖の森を元気に！！

kikito の元気の秘密を探る 一般社団法人 kikito

夏原グラントは、2012 年度から 2016 年度までの 5 年間、一般社団法人 kikito が行う「びわ湖の森の間伐材買取事業」に対し助成をしてきました。kikito の取り組みは、滋賀県内にとどまらず、全国的にも注目をされています。夏原グラントで助成をしてきた団体とは長いおつきあいをしたいと考えています。この掲載記事は、kikito 代表理事の大林恵子さん、主要メンバーの山口美知子さんにインタビューしたもので、これからも毎年 1~2 団体の活動状況を紹介する予定です。

野鳥の気持ちを知るプラットフォームづくり

山中比叡平里山倶楽部

活動場所 滋賀県大津市比叡平
設立年 2010年
会員数 20名
連絡先 担当：福田孝男 fktakao@mwa.biglobe.ne.jp
TEL:090-1025-5151 HP 

夏原グラントで実施した事業の紹介

50年前に比叡山系の中腹に開かれた新しい町・比叡平です。鳥や昆虫など珍しい生きものがたくさんいます。これらを動画でとらえることができました。特に、チョウやトンボの姿を高速の撮影でとらえたことが、最大の成果です。

環境や地域への貢献

山の中に遊び場や小鳥の水飲み場を作っていたので、家族連れで参加するようになっていました。それだけ親しみもふえましたので、動画の映写会はたいへん関心がたかまり、感動的なシーンを観てもらえました。自分たちの住んでいる所はこんなに素晴らしいのだと、改めて見直す機会ができました。

助成金が活きたと思う点

このたび助成金を活用して高級カメラを購入することができました。会員の中に生きものの撮影に興味を持っている仲間がいたことも幸運でした。日頃見られた小鳥や動物、昆虫を、カメラを通して別の角度から観察できたことが、最大の成果です。個人ではなかなか手が出ないものなので、ありがたいことだと喜んでます。



近江の苗木ニューブーム推進事業

～全国植樹祭を成功させよう～

滋賀県苗木ネットワーク

活動場所 滋賀県全域
所在地 滋賀県高島市朽木岩瀬 182
設立年 2016年2月
会員数 8名
連絡先 TEL:080-1467-0419, FAX:077-522-2596(金子)

夏原グラントで実施した事業の紹介

滋賀県で開催される全国植樹祭にむけて、滋賀県産の樹木の種取りイベントを実施しました。滋賀県のような樹木の種子を集め種まきを行い、野生鳥獣による食害を効率よく防げるように、低コストな被害対策を実施検証して、この分野の技術の普及を行い、滋賀県ブランドの環境保全に貢献しています。様々な技術の習得を行うため、研修会を開催して接ぎ木の技術を習ったり、他団体との連携を図りイベントを開催して、全国植樹祭が成功できるように県民に広く発信しています。

環境や地域への貢献

森林再生や緑化推進に必ず必要になる滋賀県産の苗木の普及推進やこの分野の人材育成に取り組むことで、地域の気候風土に沿った健康的な森林づくりに貢献しています。今回採取した種子は、全国植樹祭への活用が決まっています。毎年度の積み重ねを行うことで、全国植樹祭に貢献できると確信しています。

助成金が活きたと思う点

絶滅しかけていた滋賀県産山行苗（林業用苗木）づくりの伝統と技術を普及し人材育成を行うことで、多くの成果があげられました。先進地視察での経験や反省談を得たり、樹木の効率的な生産方法を学ぶなど、助成金が大変役立ちました。



ドローン空撮による琵琶湖周辺環境のモニター研究

認定特定非営利活動法人 e ネットびわ湖高島

活動場所 滋賀県（大津市、草津市、守山市、高島市）
所在地 滋賀県高島市勝野 3003
設立年 2012年
会員数 13名
連絡先 050-3635-9231
HP  

夏原グラントで実施した事業の紹介

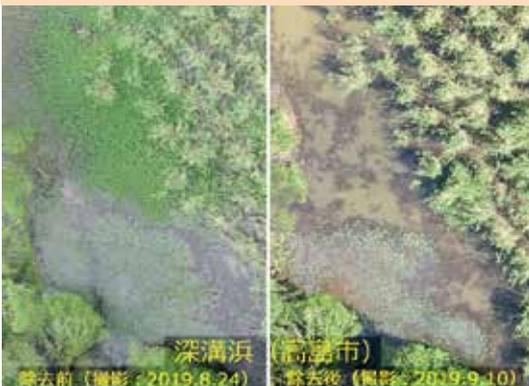
琵琶湖周辺において大きな問題となっている侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイの繁殖実態を探るため、調査エリアを昨年度より4エリア増やし、県内17エリアにおいてドローンを高度100mの上空に飛ばして分布域の時間的変化を追いました。

環境や地域への貢献

滋賀県や民間団体の除去努力により、オオバナミズキンバイの大規模群落は少なくなっていますが、高島市の深溝浜のように守りたい植物（葦など）の内部に入り込んで分布しているケースが多く見られ、その除去作業を行うのに効率的な機械を使うことが難しくなっている実態が判明しました。

助成金が活きたと思う点

広範囲に分布した植生状況をドローンで捉えるには、1エリアあたり数十枚の静止画撮影が必要で、これらを合成する必要があります。昨年度は画像合成ソフトを使って手作業で画像合成作業を行いました。一方、今年度はよりクオリティの高い合成画像を目指し、クラウドサービスを使って空撮写真では不可欠なオルソ合成に取り組んだ結果、合理的な費用で極めて良好な合成画像が得られることが検証できました。高額な機材を自前で揃える方法と比べ、クラウドサービスによるオルソ画像合成は極めて有効であり、今後様々なドローン空撮で活用できる見通しが得られました。



「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力 発信・案内するしくみづくり

ヨシネットワーク

活動場所 滋賀県近江八幡市
所在地 滋賀県大津市
設立年 1996年
会員数 30人
連絡先 電話: 080-5328-5170
torikai-kazuo122-otsu@leto.eonet.ne.jp
HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

近江八幡市円山地域の水郷とヨシに囲まれた美しい自然と文化を守り次代に継承していくため、地域の人たち、大学、事業所、行政、他のボランティア団体と連携、協力しながら、公民館、水郷巡りの乗船乗り場、竜王アウトレット等で様々なイベントやエコツアーなどを開催。地域の宝を発見し県内外に発信するとともに、琵琶湖やヨシ保全の大切さを、みんなと一緒に考えて活動する仲間づくりを進めています。

環境や地域への貢献

ヨシ産業が衰退し、地域の高齢化が進む中で、活動を通じ地域の人たちは自分たちのまちの良さを再発見するとともに、県外出身者の多い大学生たちは、琵琶湖やヨシを初めて体験する機会となり、大阪や京都では味わえない滋賀の良さを認識する場となりました。

また、地域内外の人たちの交流の場となり、まちの活性化にも役立ちました。

助成金が活きたと思う点

イベントのチラシや広報、開催に係る費用、また、遠く奈良、京都など県内外から協力してもらった学生さんの、交通費や人件費に充てられ、とても助かりました。

耕作放棄棚田の再生と伊吹の薬草復活プロジェクト 伊吹くらしのやくそう倶楽部

活動場所 滋賀県米原市小泉地先棚田
所在地 滋賀県米原市小泉1番地
設立年 2014年
会員数 20名
連絡先 ibukura.yakusou@gmail.com
HP



夏原グラントで実施した事業の紹介

伊吹くらしのやくそう倶楽部は、長年耕作放棄された棚田の再生と伊吹の薬草ブランドの復活を目指している任意団体で、米原市の北端にある伊吹山のふもとの棚田で活動を行っています。2018年度から夏原グラントの助成をいただいて、棚田に放置されている廃棄物を搬出して農地に戻し、薬草やハーブを栽培してきています。2019年度はイブキカリヤスやニホンアカネの栽培にも着手し、今後は染色植物の復活にも力を入れていく予定です。

環境や地域への貢献

耕作放棄の棚田を農地特に田んぼに戻すことで、植物や生息生物が多様化し、十年かかって再生してきた農地は徐々に土の質が変化し豊かになってきています。環境省「里山1000」の調査も継続しています。また、薬草栽培を中心に、農福連携を進めていく予定をしており、地域に貢献できることを目指しています。

助成金が活きたと思う点

夏原グラント助成金で2019年度はウッドチップパーを購入。伐採した木や竹、枝を粉砕し、通路や畝間に敷いたり、堆肥作りをしています。前年度の運搬車も同様、自分たちだけでは手が届かない機材を購入でき、棚田の環境保全の活動に活かすことができました。

遊休農地活用地場産材による甘味防災保存食事業

みんなの家 EH

活動場所 滋賀県米原市上板並
所在地 滋賀県米原市上板並 150-2
設立年 2014年
会員数 10名
連絡先 HP Facebook



夏原グラントで実施した事業の紹介

少子高齢化の進展、獣害被害の拡大で、とめどなく耕作放棄地が増え、行く中山間地で、放棄地をもう一度農地に戻すために、無農薬・化学肥料不使用で小豆を栽培。この小豆を使って付加価値を高めた、いざという時に食べる甘味防災保存食のぜんざい「いざぜん」を製造販売して、地域の小商い(コミュニティビジネス)を実践し、地域の農環境を維持していこうとするものです。

環境や地域への貢献

耕作放棄地の活用による地域の農地保全と農薬・化学肥料不使用により、農地の健全化に寄与することができました。高齢者の作業で小豆を手摘み、天日乾燥、選別などを行い、高齢者の社会参加と生きがいづくりが図れました。

助成金が活きたと思う点

獣害は耕作放棄に至る重大な要因でした。山裾にワイヤーメッシュ柵を設置しても、どこから入り込んでくる鹿やイノシシにはお手上げでしたが、助成金を活用してさらに小豆畑に電気柵を設置し、下草刈りなどの管理を強化して畑を守り抜き、昨年収穫ゼロの畑から36kgの小豆を収穫することができました。

地域の方は、これを目にしてやればできるの気持ちが湧いているようで、山裾の畑などの復活が期待されます。